

産学連携PMセミナー2018速報

2018年12月5日

日本プロジェクトマネジメント協会

副理事長 佐藤 義男

産学連携PMセミナー2018開催

- 開催日時: 2018年11月30日(金) 10:00～17:30
- 主催: 特定非営利活動法人 日本プロジェクトマネジメント協会
- 後援: 経済産業省
- 協賛: 一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会
特定非営利活動法人ITコーディネータ協会
株式会社ユピア
- 大会参加者
総数184名
- 特徴
セミナーのテーマは「エコシステム構築による新ビジネス創出」とし、大学、産業分野
の新規事業構築、オープンイノベーション事例およびビジネスエコシステム構築事例
により、産学連携のビジネス・イノベーション実現アプローチを学ぶ講演。



開会時会場風景



基調講演

- 基調講演・講演

- 基調講演「大学発ベンチャーとイノベーション・エコシステム」、各務茂夫氏／東京大学 産学協創推進本部 教授
- 講演1「中小企業のイノベーションについて」、堀井朝運氏／タカノ株式会社 相談役
- 講演2「富士フィルムの第二の創業」、中村善貞氏／富士フィルム R&D統括本部
- 講演3「システムアプローチによる成熟産業の変革」、稗方和夫氏／東京大学大学院新領域創生科学研究科 准教授
- 講演4「ビジネスエコシステム創出取り組み事例」、木村宜史氏／日本ユニシス 流通ビジネスサービス本部

基調講演「大学発ベンチャーとイノベーション・エコシステム」

- イノベーション・エコシステムの形成に向けて、産学連携アプローチと東大発ベンチャー支援の取り組みを解説。
- 何故東大がベンチャーを目指しているのか
 - 日本企業は過去23年間で成功体験が強く、自前主義からの脱却が必要。産学連携を目指すべき。
 - 世界の大企業がベンチャー企業との連携を本格化しており、オープンイノベーションが問われている。
- 産学連携アプローチ
 - 大企業によるベンチャー企業の戦略的活用：基礎研究（大学）、応用研究・実用化（ベンチャー）、実用化・市場拡大（大企業）によるオープンイノベーションのトライアングル。
- 東大発ベンチャー支援
 - 学生起業家教育、EDGE NEXT（会社設立）プログラム作成など。

講演1「中小企業のイノベーションについて」

- 中小企業の新規事業をどうやったか、を解説した。
- 新たな経営革新について
 - 新規事業開発は、人作りである(人材育成)。
 - 新規事業を具体化する人材が必要である。
- 新規事業開発で必ず行う重要な事
 - マーケットリサーチ(顧客ニーズ、価格、品質など)。
 - 技術・技能の評価(自社の技術・技能評価など)。
 - 外部活用(納期短縮、コスト削減、技術導入など)。
新規事業(画像処理の例)はコア部は自社で行い、その他は外部活用する。
一番のメリットは大学を活用すること(産学連携)。
- 新規事業の成功ポイントとは
 - 技術力がある。
 - プロトタイプ作成し、ビジネス立ち上げる。
 - 経営トップがリーダーシップを取る。

講演2「富士フィルムの第二の創業」

- 富士フィルムにおける、オープンイノベーションによる新事業創出の事例、さらなる新規事業創出アプローチ、について紹介。
- 新規事業創出とオープンイノベーション
 - 新規技術領域の展開のため破壊的イノベーション技術を先取りし、コア事業領域への新技術展開(医療分野)。
 - 産学連携は同床異夢(サプライチェーンに沿った協業が成功のポイント)。
 - 顧客とのオープンイノベーション(顧客価値共創)が必要。
 - 新規技術→新規市場・事業創出へ(トータル・ヘルスケア・カンパニーを柱)
 - 新規技術→新規市場型展開(ヘルスケア領域)。
 - 新規市場→新規技術型展開。
- さらなる新事業創出
 - 社内起業支援エコシステムでアイデアの種を蒔き、インキュベーションし芽を出させ、新規事業として育てる。その「仕組み化」が必要。

講演3「システムズアプローチによる成熟産業の変革」

- システムズアプローチ(問題をシステムとして捉え、システム概念を用いた思考を行う方法)による事例、さらにはMITとの共同研究事例について紹介。
- システムズアプローチ
 - 既存システムの理解と改善点で、顧客の期待を考えよう。
- デジタル化技術導入の事例(海上物流システム)
 - 経験から、説明できるシステムとする。
 - 海事産業のどのプロセスに、どのようなAIやIoTなどの先端技術を導入すべきか、システムズアプローチはその意思決定に有効。
- システムズアプローチ・デジタル化を推進する人材育成
 - MITと共同で教育プログラム(Global Teamwork Lab)を運営。

講演4「ビジネスエコシステム創出取り組み事例」

- 産学連携による地域活性化視点で、ビジネスエコシステムによる地域課題の取り組み事例を紹介。
- 地域課題の取り組み方
 - これからは、「企業中心」から「市民中心」へ
 - 様々な立場のソーシャル・イノベーターと連携。
 - シビックテック(地域課題を自分たちで解決する)。
- 地域活性化の取り組み事例
 - 熊本県合志市
 - 包括連携契約し、熊本大学HIGOプログラム(健康寿命延伸を中核とした産学連携)実施。
 - 地域エコシステム型のデータ利活用社会を確立(ユニシス社がデータ流通プラットフォーム提供)。
 - 会津喜多方「電子バウチャー」実証実験
 - 会津大学産学イノベーションセンターと「電子バウチャー」(回数券)実証実験。
 - スマホで商品チケット販売サービス提供。